

令和4年度 学校評価結果

お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。集計結果をご報告申し上げます。課題等の改善点につきましては対策を検討し、実施していきますので今後も引き続きご支援ご協力をよろしくお願いします。尚、外部評価重視の観点から保護者のみ昨年度の結果を併記してあります。

4: そう思う 3: 少し思う 2: あまり思わない 1: ほとんど思わない ↑ ↓ … 0.2ポイント以上増減

アンケート項目		児童 R4	職員 R4	保護者 R4	保護者 R3
学校生活全体	① 真砂東小の雰囲気は全体的に明るく元気な感じがする。	3.6	3.4	3.5	3.5
	② 学校生活に満足している。	3.5	3.2	3.5	3.5
	③ 学校の決まりをよく守って生活している。	3.5	3.2	3.5	3.6
	④ 何か困ったときは、安心して相談できる人がいる。	3.5	3.4	3.3	3.4
	⑤ あいさつがしっかりできる。	3.6	2.9	3.2	3.2
	⑥ 先生は子どもの話をよくきいてくれている。	3.7	3.5	3.4	3.4
	⑦ 食事の大切さを考えて給食を食べている。	3.4	3.3	3.2	3.2
授業学習	⑧ お子様は授業に集中し、話を聞いている。	3.6	3.2	3.2	3.3
	⑨ 授業の内容をだいたい理解している。	3.6	3.1	3.3	3.4
	⑩ 先生はわかりやすくするために、授業に工夫をしている。	3.7	3.4	3.4	3.4
	⑪ 宿題や課題などの提出物を出している。	3.6	3.1	3.6	3.6
	⑫ 体育の時間や業間休みに十分体を動かしている。	3.6	3.3	3.4	3.4
	⑬ 係活動(委員会・ボランティア)等に進んで取り組んでいる。	3.7	3.4	3.5	3.5
その他	⑭ 学校・学年便り等により、学校の様子がよく伝わっている。	3.6	3.5	3.4	3.3
	⑮ 学校内(教室・廊下・校庭等)の環境はきれいに整っている。	3.5	3.1	3.5	3.5
	⑯ 学校は地域(保護者等)と繋がるような活動をしている。	3.6	3.3	3.4	3.3
平均		3.57	3.26	3.40	3.39

(1) アンケート①～⑯の結果の考察

全体では、昨年度と同様の数値でしたが、保護者と教職員の意識の差が縮まりました。⑤については依然子供たちと教職員、保護者との意識の差が大きいです。セーフティウォッチャーや保護者からも指摘が出ており、学校全体で爽やかな挨拶ができるように児童の主体性を重視して取り組んでいきます。⑨と⑩については児童と職員との意識の差が見られました。認識の原因が何か職員で分析し、知識だけではなく、思考・判断・表現力や技能の向上にも目を向けさせて主体的に問題解決できる子供にしていきたいと思います。昨年、一昨年と評価が低かった⑭と⑯については改善が見られました。⑭はたよりを電子化したことで活動の様子や宿泊の様子をより見やすくタイムリーに配信できるようになりました。⑯は保護者会やわくキャンをはじめとする活動、セーフティウォッチャーや花のボランティア、幼稚園・保育園との交流、町探検、美浜消防署・西警察署の見学など地域との関わりを重視した成果だと考えます。③④⑧⑨については僅かですが評価が下がりました。一人一人の子供に寄り添った指導・支援は何か、今一度学校全体で共通理解を図り、児童理解に努めてまいります。

裏面もご覧ください

(2) アンケート⑩保護者のご意見・ご要望から

75件の回答がありました。貴重なご意見、ご要望をありがとうございました。今年度は個別のものが多かったですが、「教師の指導の仕方、準備物などの周知の仕方、登下校中のあいさつ・横断の仕方、コロナ禍の活動の見直しについて」の意見が複数ありました。他に、冬の体育着、自由研究、廊下や階段の掲示物、ミシンの老朽化、GIGAタブのルールなど多数の意見をいただきました。

一方で、「子供たちへの体験活動、オンライン授業の対応、きめ細かい指導、すぐーるでの写真の配信など」に対する感謝のご意見も数多くいただきました。

すぐに改善できないご意見、ご要望もありますが、ご指摘いただいた点を謙虚に受け止め、ご意見を活力にしながら、できることは改善していき、「子どもが来ることが楽しい学校」「満足して下校できる学校」をめざして頑張っていきたいと思っております。

学校側で改善、対応していくもの(今年度対応済を含む)をいくつか紹介します。

教師の指導の仕方については子供たちに大きな影響を与えることから、職員全員に再度周知し、個々に反省するところは改善するように学校組織全体で共通理解を図っていきます。

食育に関して食べることの大切さ、有難さを子供たちが主体的に意識できるように指導の工夫をしていきます。具体的には、給食の時間に調理室で給食を作る様子を映像で見せたり、給食委員会が食事の大切さや食品ロス、生ごみ処理機の紹介などを放送したり、家庭科の時間に栄養の学習をしたりして食事の大切さについて意識化するための手立ての工夫をしていきたいと思っております。また、食べる時間の確保も合わせて取り組んでいきます。

あいさつについてはセーフティウォッチャーや下校見守りの保護者の方にさわやかなあいさつができるように引き続き職員による声かけや児童会活動での主体的な呼びかけをしていきます。

GIGAタブを活用した授業、すぐーるでの学校の様子の配信など、本校は近隣校に先駆けてICTの活用を推進しています。誹謗、中傷などマナーについては今年度上学年にSNS安全教室を実施しましたが、次年度も定期的にマナー教育をしていきます。

教育環境の整備では、体育館の全ての長机の天板を交換するなど、引き続き行っています。今後、老朽化したジャングルジムと校庭の散水栓を設置する予定です。

学校の様子の周知や地域との交流については教育委員会の方針に基づきますが、学習参観、懇談会など保護者を招いた活動をコロナ感染対策の緩和を講じながらできるだけ行うようにしてきました。今後も子どもたちの活動の様子をできる限り保護者の皆様にお伝えできるようにしていきたいと思っております。